

特捜検事 F D 改ざん事件—墮ちた秋霜烈日

10・4

A 夕「前田検事上申書—コピーの存在忘れ作業・音楽聞き散漫 F D 操作—
『指示され再三修正』」「特捜部どこに問題があったのか—木谷明氏、検察
を増長、裁判官にも責任—萩生田勝氏、ブレーキ役の新構造が必要」／M
夕「証拠改ざん—前部長が『口止め』電話、前田検事の同僚に」

→10・5M 夕「証拠改ざん隠ぺい—異例の接見禁止却下、最高検請求に大阪
地裁」

→10・7A(社)「検察改革—独善の体質を見直せ」

→10・8Y(社)「検察改革—倫理規定と監督強化が必要だ」

→10・8M 夕「注目浴びる最高検とは、改ざん事件で初の逮捕執行—検事総
長以下定員は 18 人、東京地検特捜部経験者も多数—重要案件、事件・公判
のコントロールタワー」

→10・10A(社)「大阪特捜部—『検事の犯罪』残る疑惑」

→10・11M「大阪地検改ざん事件、前田容疑者きょう起訴—墮ちた秋霜烈
日—不利な証拠消したかった、F D の存在なくすため返却」

⇒10・11 前田恒彦元特捜検事を公判請求—証拠隠滅罪で大阪地裁に／法務
省、前田元検事を懲戒免職 (10・12A 夕)

⇒10・11 最高検・伊藤鉄男次席検事、国民にお詫び (記者会見) (10・12
A 夕)

→10・12M 夕「前田容疑者を起訴、証拠 F D 改ざん—最高検、隠滅罪で—
懲戒免職に、『公判紛糾避けたかった』『物証軽視』背景に—『個人の犯罪』
で済まぬ」「苦汁『詳細な説明』、前田元検事起訴—批判踏まえ会見、異例
の 1 時間半」

→10・13A「改ざんデータ保管、前田前部長『前部長知っていた』—最高
検、U B S 押収—前副部長は否認」「『返却済み』説明と矛盾—改ざんデー
タ保管、上申書の虚偽濃厚」

→10・13M(社)「検察のチェック—裁判所の責任も重大だ」

→10・13M「担当全事件を検証、最高検方針—前田被告、証拠取り扱い精査」

10・4 A「タクシー減車 1.2 万台、来年 3 月までに—最大級、供給過剰で」／現時点の申請状況—全国 10 ヲ所の運輸局取材—減車・休車申請は 40 都道府県で合計 1876 社／東京都では 297 社（全体の 7 割）が計 4136 台、大阪では 157 社（全体の 4 割）が計 2057 台、愛知では 1203 社が計 867 台、福岡では 102 社が計 361 台の各減車申請

10・4 A「高速 3 社、天下り 125 人—子会社役員の 4 割、民営化後増加」「民営化 5 年・成果と渋滞—高速道路会社、P A I 新売上げ倍増—返金に税金、金利の恩恵も」

10・4 M(社)「失業率と貧困—長期的視野で対策を」

強制起訴—小沢—郎的政治体質めぐる攻防と命運

10・4 小沢一郎氏、強制起訴へ—東京第 5 検察審査会、小沢氏の 04 年、05 年分の政治資金規正法違反（虚偽記載）で 9・14 付の再「起訴議決」→強制起訴へ

⇒小沢氏、「誠に残念。裁判の場で無実であることが、必ず明らかになるものと確信している」（10・5A）

→10・5A「小沢氏強制起訴へ—検察審、2 度目の議決—陸山会事件『虚偽記載を了承』—小沢氏『裁判で無実』、民主の離党勧告、焦点」「法廷決着、市民が選択」「議決、代表選の当日—偶然？検察審の真意不明、『大阪地検の事件関係ない』—秘書の報告割れた評価、検察・共謀困難／検審・厳密さ不問—弁護側『推論支えた結論』」「剛腕ついに土俵際—小沢氏即答『逃げない』、影響力温存へ・離党論も浮上」「首相、迫られる二者択—一返り血覚悟し厳正処分か／党内に困り脱小沢演出か」「追及、野党に温度差—証人喚問、自民は攻勢／争点化、公明に慎重論」「『法廷で黒白を』議決—検察側『慎重の上にも慎重に審査』、検察官『無罪なら責任は』」「小沢さ

ん納得させてうやむやだめ・検察しっかりして」「信頼、全く揺るがぬ
ー小沢チルドレンら」

→10・5 各紙社説・評論

A 「小沢氏起訴へー自ら議員辞職の決断を」

M 「検審『起訴議決』ー小沢氏は自ら身を引け」／社会部長・小泉敬太「刑
事司法問い直す契機」

Y 「検察審再議決ー小沢氏『起訴』の結論は重い」／政治部長・村岡彰敏
『政治とカネ』脱却を」

N 「政治家の特別扱い疑った検察審査会ー『小沢政治』に決別の時だ」
／編集委員・坂本英二「民主党はどう説明する」

T 『小沢氏強制起訴ー法廷判断求めた市民』

サ 「小沢氏強制起訴へー潔く議員辞職すべきだー『形式捜査』検察はどう
応える」／社会部長・近藤豊和「『素人判断』とあなどれない」

H 「小沢氏強制起訴ー国民参加した検審の重い判断」

→10・6M 「小沢氏処分及び腰ー追跡、民主執行部『200人』存在重くー野
党、辞職勧告決議案見送り」／Y 「小沢氏問題、沈黙の民主ー起訴議決
世論見極めー『処分なら分裂』対応苦慮ー証人喚問要求、自公、追及に
温度差」

⇒10・6 菅首相、答弁ー「(小沢氏の証人喚問について)説明の場、方法を
含めて本人自ら判断され、対応することが望ましい」(10・7M)

→10・7M(社)「菅首相ー『熟議』阻むおざなり答弁」／T(社)「代表質問ー政
治主導の決意感じぬ」／10・9Y(社)「各党代表質問ー『イラ菅』の棒読み
では困る」

⇒10・7 小沢一郎氏、離党・辞職否定ー(離党や議員辞職について)「その
ような意思を持っていない。私が必要とされる限り、政治活動は続ける」
(国会内、記者団に)(10・5A)

→10・8A(社)「小沢氏のけじめー民主党はこれでいいのか」「検察審秘密の
ベール、政治活動淡々と継続ー小沢氏、執行部と神経戦」／Y 「民主議

員の賛否、小沢氏『議決は残念』－『疑惑段階で身を処すべきだ』、『検察審の審査公表が必要』－検察審、告発外の『容疑事実』認定－議決自体無効にはならず」／T「どうなる起訴内容－小沢氏側、有効性を疑問視、法曹関係者は『問題ない』」

→10・8Mタ「『検察審批判はおごり』－経験者に戸惑い、『政治家選ぶのも素人』」

→10・13M(社)「小沢氏招致問題－民主党の感覚を疑う」／Y(社)「小沢氏国会招致－首相は党首として実現に動け」

→10・14A(社)「検察審査会－無用の疑念防ぐ工夫を」

菅内閣支持率急落と対中外交の拙劣さ

10・4 M「内閣支持急落 49%、本社世論調査－中国漁船衝突・対応に批判」

調査－10・2～3 電話調査

①内閣－支持 49%、不支持 34%

②中国の漁船衝突事件で中国人船長を逮捕したこと－適切 83%、適切でなかった 13%

③中国人船長を処分保留で釈放したこと－適切だった 22%、適切でなかった 74%

④中国人釈放を「検察の判断」として政府介入を否定している政府の説明－納得できる 10%、納得できない 87%

⑤今回の事件で中国へのイメージは－よくなった 0%、悪くなった 44%、変わらない 53%

⑥今後、日本と中国の関係は－関係改善を急ぐべきだ 31%、しばらく距離を置くべきだ 31%、日本の主張を優先すべきだ 35%

⑦取調べの全面可視化－賛成 81%、反対 14%

10・4 Y「内閣支持下落 53%、本社世論調査－中国人船長釈放『不適切』7割」

調査－10・1～3 電話調査、回答 1104 人 (64%)

①内閣一支持 53%、不支持 37%

②菅内閣に優先的に取り組んでほしい課題—景気・雇用 34%、社会保障 27%、外交・安全保障 14%、財政再建 10%、政治とカネ 7%・・

③中国人船長の「検察当局の判断」と政府説明—納得できる 11%、納得できない 83%

④中国への信頼—大いに信頼 1%、多少は信頼 12%、あまり信頼せず 49%、全く信頼せず 35%

→10・7A (世論調査)

10・5～6 電話調査

①内閣一支持 45%、不支持 36%

②小沢氏の起訴議決—けじめをつけるべきだ 69%、その必要はない 21%

③政治とカネの問題をめぐる民主党の対応—評価する 16%、評価しない 69%

④検察審査会の強制起訴制度—評価する 65%、評価しない 19%

→10・7T (共同通信社調査)

調査—10・5～6 電話調査、1006 人回答

①内閣一支持率 47.6%、不支持 36.6%

②小沢氏は強制起訴で—離党すべし 63.8%、離党不要 26.4%

③小沢氏は国会議員を—辞めるべし 54.3%、辞める必要はない 36.2%

④小沢氏のこれまでの説明—納得できた 8.4%、納得できない 86.4%

⑤尖閣諸島沖の衝突事件での中国人船長の釈放—適切 18.9%、適切でなかった 72.3%

⑥中国人船長の釈放を検察官当局の判断結果とする政府説明—納得できる 10.7%、納得できない 82.0%

10・4

尖閣諸島問題—共産党が見解発表「尖閣諸島問題—日本の領有は歴史的にも国際法上も正当—日本政府は堂々とその大義を主張すべき」(10・5H)

⇒10・9 中国、フジタ社員・高橋定氏 (57) を釈放 (9・20 逮捕) (10・10 A)

⇒10・11 日中防衛相会談（ハノイ）－「戦略的互惠関係の推進」で一致／
日米防衛相会談（ハノイ）－日米共同で島しょ防衛に対処する方針で一致
→北沢防衛相、武器輸出三原則見直しをゲーツ国防長官に伝達（10・12N
夕）

→10・13A「武器輸出三原則見直し論議－平和理念絡み官邸慎重」／H「武器
輸出三原則、見直し発言相次ぐ」

10・4 名古屋市議会リコール署名－「ネットワーク河村市長」は8・27～9・27の
間集約署名 46万 5385人分提出→10・5より市選管が審査、10・24頃有効
署名数を確定（要件は36万 5795人分）（10・4A夕）

→10・8M(社)「首長 vs 地方議会－住民の出番を増やそう」

→10・8T「『民意』にゆれる名古屋、市議会リコール求め46万人－市長側、
出直し選勝算不透明－議会側、成立前の自首解散も」

→10・14Y(社)「首長 vs 議会－名古屋市だけの問題ではない」

ノーベル賞－邦人2人の化学賞と劉暁波氏の平和賞

10・6 ノーベル化学賞、日本人2氏に－スウェーデン王立科学アカデミー発表、
今年のノーベル化学賞を根岸英一・米バデュー大特別教授（75）、鈴木章・
北海道大名誉教授（80）、リチャード・ヘック・米デラウエア名誉教授（79）
に贈ると発表－業績「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリン
グ」（10・7各紙朝刊）

→10・7M「ノーベル賞日本人2氏－根岸英一氏・鈴木章氏－有機化合物革
新的な合成」「豊富な人材研究支え－研究仲間ら祝福」「お家芸カップリン
グ－ノーベル化学賞日本人2氏、60年代から次々－医薬品から液晶まで、
生活密着の基礎技術」

10・8 ノーベル平和賞、中国人の劉氏に授与－「獄中の中国人権活動家・劉暁波
氏（54）－『08憲章』起草、党独裁を批判－中国、激しく反発」－米大統
領、釈放を要求」「抑圧下人権訴え－拘束4度劉氏不屈－影響力おびえる当

局」「(社)平和賞—中国は背を向けるな」「人権外交正念場、劉氏にノーベル平和賞—米、『政治改革』求める、対中国新たな火種に—EU・台湾『歓迎』
／M「中国、民主化の波恐れ—劉氏ノーベル平和賞、欧米から圧力必至—『国家権力でも完全に制御できぬ』 ネット武器不屈の20年—劉氏、温和な人柄」「(社)ノーベル平和賞—中国民主化への期待だ」／Y(社)「ノーベル平和賞—中国に民主化を迫る授賞だ」

⇒10・4 ノーベル平和賞選考委員長の発言 (朝日新聞インタビュー)、ノーベル賞委員会ヤーグラン委員長、(劉氏に決めた最大の理由は)「民主主義と人権 (の尊重) が世界平和に不可欠だからだ」「中国は大国として、批判や監視、議論の対象になる責任を引き受けなければならない」(10・9A夕)

10・8 円高、一時81円台—ニューヨーク外国為替市場1ドル=81円93銭、95・5以来の81円台 (10・9M)

→10・9N「米雇用、9月9万5000人減—民間部門の回復遅れ鮮明、大統領『景気後退で打撃』」／Y「NY81円台、米雇用悪化で加速—政府、日銀円高阻止有効策見えず」

→10・13T「東京81円台、止まらぬ円高—市場、為替介入を注視—通貨安競争に各国厳しい目、『79円までは困難』」

10・15T「円高高値79円75銭、更新を警戒—介入1ヵ月、『巨額な分、反動大』、次の一手に市場神経戦」

10・8 T「『二番底』8割が懸念、主要204社景気アンケート—回復予想時期『来年後半』最多に—現状は『横ばい』半数超す」

10・8 菅内閣、5兆円対策を閣議決定—臨時国会に提出する2010年度補正予算案を柱にした円高、デフレ対応緊急総合経済対策、規模5兆500億円—10月中に国会へ提出 (10・8A夕)

普天間問題の攻防—沖縄知事選と民主「自主投票」方針

10・8 普天間—仲井真知事、普天間県内移設「まずなくなったといえると思う」「も

う 1 度見直して、県外を求める。なぜなら、もう県内にないからですよ。
日本全体で責任をおうべきで、国として、沖縄に限定しないでやるべきだ」
(10・8A夕)

→10・11A 「沖縄知事選、動けぬ政権一普天間消えた『容認』、日米関係に
影響必至」「民主、独自候補は困難一党本部と小沢G・地元を溝」

⇒10・13 沖縄仲井真知事、県外移設求める一前原外相と会談、「県外を強く
求める。県内の納得いく説明、解決策が示されていない」、前原外相、10・
5日米合意に基づいて「県内移設」を進める考え示す(10・14A)

⇒10・14 民主、自主投票の方針固める(10・15A)

10・12 衆院北海道補選公示一民主・小林千代美氏が北海道幹部違法献金事件で辞
職したことを受け→10・24 投開票(10・12A夕)

→10・13A 「票いずこ民・自迷走、衆院北海道5区補選告示一『利益誘導』
批判してたのに…一民主、業界頼みにシフト」

チリ鉱山事故 33 人全員の生還一その歓喜と教訓

10・12 チリ鉱山落盤事故で 33 人のカプセル救出始まる／8・5 地下約 700 メートル
で落盤事故、作業員 33 人閉じ込められ→8・17 全員無事が確認一南米チリ・
コピアポ郊外のザンホセ鉱山で

→10・13A 夕 「チリ作業員生還、カプセル作戦が成功一落盤から 70 日目、
33 人救出へ続々」「1 番手は副責任者、『あの子は強い』」「地上の家族に希
望一別鉱山の作業員、ピエロ姿で励ます」「生還、涙の口づけ一歌う家族、
はためくチリ国旗」

→10・14A 「地上の妻を抱きしめた、チリー最年長 63 歳、地底から手紙 40
通一救出、きょうにも完了」「救出劇、世界沸く一報道 1000 人、チリ集結
一地震の傷、癒す国民」「信じてた、夜を徹し救出作業一『仲間と一緒に』力
に、専門家指摘一『大地の母のおかげ』、ボリビア人ママニさん家族」

⇒10・13 作業員 33 人、全員生還(日本時間 10・14A9:55)(10・14A夕)

10・12 米、未臨界核実験―9・半頃実施が判明―2006・8以来4年ぶり→「核のない世界」を提唱するオバマ政権下で始めて（10・13A夕）

→10・13A夕『『オバマ氏には失望』―米臨界核実験に被爆者ら』／N夕「広島・長崎、怒りと落胆―米が臨界核実験、『裏切られた』」

→10・14『『核なき世界』掲げ米臨界実験にオバマ政権、矛盾内包』

⇒10・14 共産・志位委員長、米の核実験に抗議―「強く抗議したい。米国政府は自ら世界に約束した『核兵器のない世界』に向けた実効ある行動こそとるべきだ」（記者会見）（10・15H）